



国指定重要文化財で書道と茶道が融合

私の好きな一文字作品展・新春お抹茶の宴

1月17日から2月4日まで国指定重要文化財中島家住宅で、私の好きな一文字作品展が開かれました。「笑」「愛」「光」など、色紙に力強く書かれた文字を茶



↑個性豊かな57字が展示①、お茶を楽しむ皆さん②

の間に展示。また21日には、表千家茶道教授の清水十六子さん(町三)による新春お抹茶の宴が開かれ、訪れたたくさんの人たちが本格的なおもてなしを受けていました。

自由な発想で個性あふれる作品が完成

文化芸術による子供育成推進事業

12月20日、落合小学校で文化庁から派遣された彫刻家の神戸峰男さんら4人を講師に迎え、彫塑教室が行われました。講師に見守られながら自由な発想で粘土をこね、思い思いの作品を制作した児童たち。教室の最後に神戸さんは「夢中で時間を忘れてできることを大切にしてほしい」とメッセージを送っていました。



↑夢中になって粘土をこね作品を制作する児童たち

マジックやバルーンで大満足の1日に

町立児童館クリスマスフェスタ

12月23日、町立児童館でクリスマスフェスタが開かれました。図書館虹の会によるパネルシアター「牛方と山んば」、ピエロのピーちゃんを招いてのマジック



↑ピーちゃんのマジックショーに大興奮の児童たち

ショー&バルーンアートなど幼児から楽しめる企画が催されました。最後はトトロやポケモンのバルーンがもらえるじゃんけん大会で会場は大盛り上がりでした。

消防団が防災・減災への決意を新たに

添田町消防出初式

1月7日、そえだドームで令和6年添田町消防出初式が行われました。新型コロナウイルスに伴う行動制限がなくなり、多くの来賓に見守られながら行われた今年



↑退団に際し町長から感謝状を贈呈された八嶋前4分団長①

の出初式は、146人の団員が参加。分列行進などを行った後、表彰や入退団の辞令交付が行われました。式典後は4分団員による小型ポンプの展示操法も披露されました。

大谷選手のグローブで「野球しようぜ!!」

アメリカ大リーグ大谷翔平選手グローブ寄贈

メジャーリーガーの大谷翔平選手から贈られたグローブが添田町内4つの小学校に届き、各小学校で贈呈式が行われました。真木小学校では始業式の後に贈



↑太田校長先生から渡されたグローブを披露する児童

呈式が行われ、全校生徒の前で送られた3つのグローブを使い児童代表の3人がキャッチボールを行いました。児童は「軽くて使いやすい」と笑顔で話していました。

花の意味を学びながら正月飾りを作製

そえだ公民館冬休み子ども講座

12月28日、お正月の花飾りを作るフラワーアレンジメント教室がオークホールで開かれました。講師にK's フラワーデザイン(株)の吉田宏司さんを迎え、

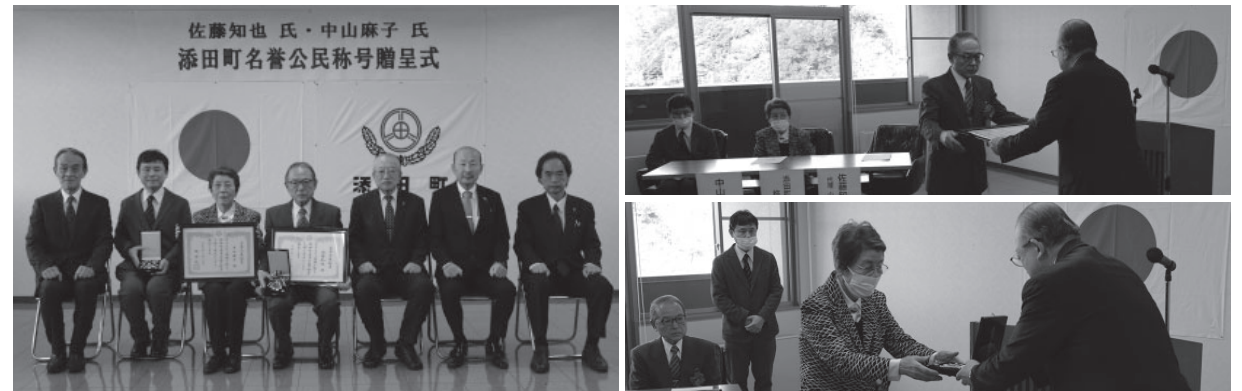


↑同じ花を使ってもそれぞれに個性のある正月飾りができました

小学生8人が寒さに耐えるところから歳寒三友とよばれ、めでたいものとして慶事に使われる松・竹・梅などを思い思いにアレンジメント。素敵な正月飾りができました。

佐藤知也氏 中山麻子氏に 添田町名誉公民の称号を贈呈

令和5年第3回定例会において議会の同意を賜り、町に多額の寄附を行うことで、ふるさと添田の子どもたちを力強く支援し、添田町の教育振興、発展に多大なる貢献をいただいた佐藤知也様、中山麻子様添田町名誉公民の称号が1月13日、役場で執り行われた名誉公民贈呈式で贈呈されました。贈呈式には令和5年5月にご逝去された佐藤知也様の甥にあたる小黒克明様と中山麻子様、中山様のご息子の中山雅晴様が出席され、町議会議員や町教育委員など来賓に見守られるなか、寺西町長より名誉公民証書と名誉公民章が贈呈されました。



佐藤知也氏の功績・経歴の概要



大正8年8月25日生/令和5年5月28日逝去 満103歳
昭和9年 添田小学校第1回「給仕」拝命
昭和12年 八幡製鉄所入所
昭和18年 臨時召集により佐世保海兵団海軍主計二等水兵
昭和21年 日本生命保険相互会社福岡支社入社
昭和53年 同社大阪保険代理社 常務取締役福岡営業部長
平成26年~ 添田町立図書館、添田小、中学校への多数の図書寄贈
平成27年、28年 町へ10,000,000円、計20,000,000円の寄附

中山麻子氏の功績・経歴の概要



昭和10年1月20日生
昭和34年 順天堂大学医学部卒業、九州大学医学部附属病院実地修練
昭和35年 九州大学医学部産婦人科学教室副手
佐賀県立病院好生館産婦人科勤務
昭和38年 福岡市立西新病院産婦人科勤務
昭和42年 中山産婦人科医院開業 同院長
昭和49年~ 福岡県立田川商業高等学校校医 (平成19年3月の同校閉校まで)
令和3年 町へ20,000,000円の寄附

寄附金を原資とした奨学金制度の創設

町はお二人の寄附を原資に「添田町佐藤知也給付型奨学金」、「添田町中山麻子給付型奨学金」として返済義務のない給付型の奨学金制度を創設しました。これは町独自の制度としては近隣では類を見ない奨学金制度で、これまで16人の生徒に給付し、既に6人の奨学生が卒業を迎え、この支援を心に刻みつつ、社会人として多方面で活躍しています。